

北部地域河川及び水沼ダム湖下流域の河川水質の放射性物質濃度の調査結果(R3.6)

№	採取地点		採取日	天候	気温 (°C)	水温 (°C)	全水深	採取位置	放射性物質濃度 (Bq/L)		
	河川名	地点名							放射性セシウム		
									I-131	Cs-134	Cs-137
I	里根川	里根川橋	R3.6.23	晴	23.3	21.7	0.37 m	全層	不検出	不検出	不検出
II		関本橋	-	-	-	-	-	-	-	-	-
III	小木板谷川	第2落合橋	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IV	花園川	上小津田橋	R3.6.23	晴	25.5	19.5	0.30 m	全層	不検出	不検出	不検出

※放射性物質濃度の測定方法：ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析法

※放射性物質濃度欄について、検出下限値（1Bq/L）以下のものは不検出と記載している。

※令和3年度から北部地域河川調査は、4地点のうち2地点を選び、市内河川調査に合わせて実施している。

[参考]

- ・食品衛生法に基づく食品、添加物等の規格基準（飲料水）（平成24年3月15日厚生労働省告示第130号）
放射性セシウム（Cs-134、Cs-137合計）： 10 Bq/kg
- ・水道水中の放射性物質に係る目標値（水道施設の管理目標値）（平成24年3月5日付け健水発0305第1号厚生労働省健康局水道課長通知）
放射性セシウム（Cs-134、Cs-137合計）： 10 Bq/kg

北部地域河川及び水沼ダム湖下流域の河川底質の放射性物質濃度の調査結果(R3.6)

№	採取地点		採取日	天候	気温 (°C)	水温 (°C)	全水深	採取深	性状	放射性物質濃度 (Bq/kg) 乾泥		
	河川名	地点名								放射性ヨウ素	放射性セシウム	
										I-131	Cs-134	Cs-137
I	里根川	里根川橋	R3.6.23	晴	23.3	21.7	0.37 m	全層	砂	不検出 (検出限界値:7.2)	不検出 (検出限界値:7.3)	41
II		関本橋	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
III	小木板谷川	第2落合橋	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IV	花園川	上小津田橋	R3.6.23	晴	25.5	19.5	0.30 m	全層	砂混礫	不検出 (検出限界値:7.8)	不検出 (検出限界値:7.8)	43

※放射性物質濃度の測定方法：ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析法

※令和3年度から北部地域河川調査は、4地点のうち2地点を選び、市内河川調査に合わせて実施している。

北部地域河川及び水沼ダム湖下流域の河川周辺環境**土壌**の放射性物質濃度の調査結果(R3.6)

№	採取地点		採取日	天候	採取深	性状	採取位置	放射性物質濃度 (Bq/kg) 乾			空間線量 (μ SV/h)
	河川名	地点名						放射性ヨウ素	放射性セシウム		
								I-131	Cs-134	Cs-137	
I	里根川	里根川橋	R3.6.23	晴	5 cm	砂質	右岸	不検出 (検出限界値:5.2)	不検出 (検出限界値:6.9)	30	0.06
II		関本橋	-	-	-	-	-	-	-	-	-
III	小木板谷川	第2落合橋	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IV	花園川	上小津田橋	R3.6.23	晴	5 cm	壤質	左岸	不検出 (検出限界値:9.8)	14	390	0.06

※放射性物質濃度の測定方法：ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析法

※空間線量は、日立アロカメディカル製TCS-172Bを使用し、地上1mでの測定値を記載している。

※№IV地点は、H28.7.25の調査まではほぼ同じ地点での採取であったが、河川敷の土が流され岩石のみとなったため、H29.1.26の調査ではそれ以前の調査地点より50m程度下流側に移動している。また、H29.7.19以降の調査では、河川敷の形態の変動により堤防法面での採取となっている。

※令和3年度から北部地域河川調査は、4地点のうち2地点を選び、市内河川調査に合わせて実施している。